



ふるさと子どもカレッジ」だより

石巻市教育委員会 生涯学習課
8月10日 第2号



第2回活動 大学ってどんなところ／石巻専修大学で防災学習

令和8年8月5日（水）8：30～12：30

活動内容

梅雨が明け夏空の下、大学構内の快適な環境の中で活動をさせていただきました。講師の横江信一先生や職員の方々、4名の横江ゼミの学生の皆さんが温かく迎えてくださいました。学生さんの笑顔あふれる自己紹介で第2回活動がスタート、今回は夏休み中ですが平日の開催で集合や解散について保護者の皆様にご協力をいただきました。横江先生はじめ職員、学生の皆さんの万端たる事前の準備のおかげでスムーズに活動が進んでいきました。横江先生がリードされたアイスブレイクで参加者は一気に盛り上がり、「KYT（危険予知トレーニング）」では掲示資料からどんな危険が考えられるかをみんなで考え、意見を出し合いました。学生さんが自ら考え制作した「石巻防災かるた」は圧巻で、災害場面の場合に応じた色分けなどがなされ親しみやすいイラストで、参加者は夢中でゲームに興じていました。終了後は防災の意識が一気に高まったと感じているようでした。最後の「大学見学」では、職員の方々に案内いただき、海洋生物の水槽、はく製、動物や魚の標本などが展示されている大学構内を通り、自動車工学センターや大学図書館で説明を聞きながら見学しました。石巻地域の最高学府であり、東日本大震災の防災拠点であった石巻専修大学で今回ふるさと子どもカレッジの活動を体験できたことはとても意義深いものでした。限られた時間の中で参加者に盛りだくさんの活動体験を与えていただいた講師の横江信一先生や学生の皆様、開催へ向けてご尽力いただいた職員の皆様に感謝いたします。

活動記録



☆アイスブレイク・KYT発表



☆みんな真剣!!石巻防災かるた体験



☆自動車工学センターで昭和の車に乗りました!!



☆図書館で震災前の石巻の様子を見学しました

参加者からの感想

○ホールでのレクリエーションでは防災かるたが遊んで学べてすごくいいと思いました。一番心に残ったのは図書館です。専修大学の学生の方だけではなく、私たち小学生でも図書館を利用できると聞いて、今度来てみたいと思いました。

○みんなと仲良くなれてよかったです。KYTの時に話し合ったり発表したりしたのが心に残りました。見学の時も色々な物を触らせていただき、とても有意義に夏休みを過ごせたと思いました。

○普通では入れない場所(図書館・車の整備建物)を見せてもらってありがとうございました。標本などがあってすごく驚きました。そして、色々な準備をしていただきありがとうございました。

○防災かるたを学生さんが作ってすごいと思った。骨の標本がすごいと思った。鹿の骨とかもあってびっくりした。色々なところを見学させていただきありがとうございました。

○去年よりも見学できる場所は少なかったけど、その分一つ一つの場所をすごく見ることで前回よりも楽しかった。大学生の方と遊んだ「防災かるた」が楽しかった。防災について学ぶこともできて、楽しいので良いアイデアだと思った。

○防災について学びながらかるたをしたのが楽しかったです。大学の図書館は思っていたより大きくてびっくりしました。車のエンジンがたくさんあり、古い車に乗れてうれしかったです。次回の活動も楽しみです。

○自分の学校よりもすごく部屋が多くてびっくりした。昔の車と今の車は全然違うことが分かった。防災かるたと「KYT」のことを初めて知った。図書館は1階だけではなく、2、3階とあり、びっくりした。今日初めて参加したけれど、とても楽しかった。

○災害の学習では、みんなで危ないところを探すところやかるたが楽しく学べた。図書館では昔の石巻の地図や模型を見ることができて楽しかった。色々な本があってすごかった。

「ふるさと子どもカレッジ」とは…

ふるさと石巻市の自然・文化・歴史・産業を活かした体験活動を通して豊かな心を育み、ふるさとについて知り、ふるさとから学び、ふるさとを愛し、誇りに思う子どもの育成を目指します